

クラブ活動報告

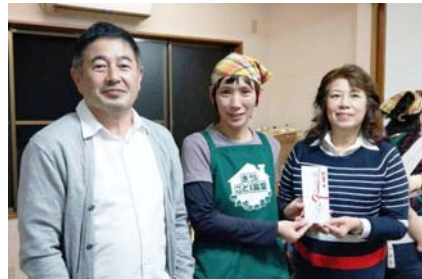
こども食堂の支援 (10月は経済と地域社会の発展月間)

海南東ロータリークラブ

海南東ロータリークラブ(会長 山畑 弥生)は、社会奉仕委員会(委員長 倉橋 利徳)を中心に2018年10月12日に紀美野町 キノコ食堂、また、10月17日に海南市内海の木内食堂と海南市船尾のそら患有食堂をそれぞれ訪問し、活動の支援金を手渡しました。

子ども食堂とは、親が仕事で忙しく、一人で食べる「孤食」の子や、バランスの取れた食事を、おなか一杯食べる。皆で食べる喜びを知れば、孤独な子もおしゃべりできるようになる。「美味しい」は「嬉しいこと」、「楽しいこと」であると気づいてもらう為の子ども食堂です。子ども食堂は、健全な子どもの育成が目的です。地域全体で子どもを育てていく意識をもつことは、家庭にとって子育てをしやすくするだけでなく、子どもを中心として地域全体が活性化していくことを願っています。運営は、地域の人や高校生や大学生のボランティアが支えています。

海南東ロータリークラブでは、昨年に引き続き、こども食堂の支援を行いました。今年度は新しく、紀美野町のキノコ食堂を加え、3箇所の援助を行いました。こども食堂のボランティアの方は、中高年が多数なのですが、特に紀美野町のキノコ食堂には、地域のボランティアの方々に交じって、和歌山大学の先生と学生、さらに、海南高校(大成校舎)の学生も参加してくれていました。和歌山大学と紀美野町は2016年から地域社会の発展と学術の振興に貢献する為に地域連携推進の包括協定を締結しているとの事で、その一環として大学が地域インターンシップ(LIP)に取り組み観光学部のゼミの先生と学生が、ボランティアに参加しています。こども食堂は、地域に広がり、徐々に増えてきています。クラブでは地域との繋がりを更に深め、地域団体や支援グループ、学生の皆さんと連携し、今後も多くのこども食堂の支援を続けていくことを目指しています。



広がれ、
こども食堂の輪!

